

# 宮城県栗原市からのお客さま「までなくらし」って



茅葺き小屋の前で

て、筑波大の安藤邦廣先生に解説していただきました。

「くりはらツーリズムネットワーク」は、郷土料理や地元の農産物を使った料理のワークショップなど、「食」の活動が多いのですが、その中でも、会員が取り組んだユニークな活動の一つを紹介します。栗原市の旧家に伝わる料理書を紐解くことで始まった「150年前の栗原の食復活プロジェクト」。古書に伝わる料理を試作・復元することで、当時の豊かな食文化や習俗がよみがえりました。そして、農家民宿での試食会、小学校での食育出前授業など、様々な地域おこしにつながっています。皆さんの活動の大事なキーワードは、「まで」。「まで」とは、「ていねいな」という意味。食材を丁寧にごしらえしたり、手間暇かけてつくることが、食にとどまらず、「『まで』

宮城県栗原市より「くりはらツーリズムネットワーク」の皆さんが2月23日(土)、24日(日)の両日で視察にこられました。

当日の朝は、栗原は雪模様。道中の事故渋滞の影響などで8時間近くかかって、六所地区に到着。美六山荘で、山麓の野菜をふんだんに使った塩梅さんの「里山弁当」で遅い昼食。田井の大切な宝を探した「お宝発見マップ」や7年にわたって発行してきた「すそみろく」について、つくば環境フォーラムの田中ひとみさんに、建設中の六所の茅葺小屋につい



縁側で座布団作りに励む会長の小野寺さん



竹の器に盛られたえび餅(沼えびや川えびを使う)

な暮らし」というテーマで、様々な農村体験を提供する博覧会も開催されました。

交流会の終盤には、我らが山麓の伝統食「すみつかれ」が登場。用意していた六所の森田禮子さんの解説で、生のもと、火を通したものの2種類をいただきました。また、栗原の皆さんは、なんと餅つき機ともち米等を持参され、その場で「えびもち」や「あんこもち」を作ってふるまって下さいました。珍しい「えびもち」にワツと歓声があがりました。

二日目は、六所に建設中の茅葺き小屋を見学した後、神郡の佐治右衛門邸(櫻井勇さん宅)で、協議会のメンバーの木村寿子、木村美希さん(はんでん屋)による「小座布団作り」を体験。ぽかぽかと日の当たる縁側での綿詰め作業に、皆さん熱心に取り組みで下さいました。暮らしの中にある手仕事を丁寧に伝えようとい

## 筑波山麓のしめ縄づくり



稲わらと完成したしめ縄をもつ田野倉さん(左)と鮎川さん(右)

五穀豊穡や家内安全、無病息災を願い、年神様を迎え入れる正月飾り。正月飾りのひとつのしめ縄。最近ではすっかり既製品ですが、本来は農家が縄をなつて作っていました。昔は自家用にどの家でも稲わらを準備して年末につくっていたと話す筑波山麓臼井地区に住む鮎川寛さんと田野倉和良さん。縄をなう手つきは手慣れたもので、しめ縄のない方のひとつ「ごぼうじめ」をあつという間になってくれました。神様に備えるものは左縄といって捻じる向きが決まっているそうです。

材料となる稲わらは、120cm以上必要で背の高い品種を今も大切に保存しているとのこと。夏頃の青く柔らかいうちに刈り取り、冬まで大切に保管したものを使います。気が早いかと思いますが、田植えの準備がそろそろ始まる時期です。しめ縄づくりを体験イベントとできないか画策中。どうぞ期待!

安藤 慧(里山建築研究所)

## すそみの暮らし再発見! 別冊『筑波山ふもと図鑑』発行

筑波山麓の暮らしを子どもと大人がいつしよに語り合い、見つめ直すきっかけにとこの度、絵本『筑波山ふもと図鑑』をつくりました。

かつては「ヤマがきれいで裸足で歩けたっけな」、「夏になると、蚕の世話で忙しかったんだ」、「お嫁入りが決まり、母が綿を作って、嫁入りしたくしてくれたんだ」なんていう話を聞いているうちに、ぜひお孫さんの世代に伝えねばというのがきっかけでした。でも、文章だけではつまらないし、写真を探しても出てくるかどうか。ということで、絵本だ! となつたわけです。

絵本は、この「すそみろく」の別冊とし、図鑑と位置づけました。当



然、載せる絵は、正確さが最低条件。この絵を描いてくれたのが、漆所の小沢陽子さん。ずっと「すそみろく」のデザイン、イラストを担当してきてくれました。全体のデザインは山崎かのこさんで、わた部などの活動でおなじみ。

絵本は、文章を少なくしました。絵をみた子どもが、「これなに?」と疑問を投げかけ、そこから語りかけてもらいたいとの考えからです。

この絵本は、筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会の活動として2000部製作しました。今後は、語りのワークショップの教材として活用し、豊かな暮らしを生かした将来像をみんなで共有できればと考えています。グループや仲間と、語りの場を持ちたいという方はお気軽にご連絡ください。

問い合わせ・029-867-11083  
協議会事務局  
野末たく二(絵本企画担当、すそみろく編集委員)

う思いのこもつたワークショップ。山麓版の「までなくらし」を感じていただけただでしょうか?

出来上がった座布団を手に、つくば道を少し歩き、自然生クラブさんの石倉で小休止。代表の柳瀬敬さんが、「ヨーロッパでは、どんな小さな村でも村人が自由に集まり、身近に芸術を楽しめます」と、地域の人気が気軽に訪れアートを楽しむ場の必要性を話して下さいました。

その後、北条街づくり振興会の坂入英幸さん、宮本孝さんの解説で、「北条ふれあい館」、登録文化財「宮本邸」を見学。矢中の杜の井上美菜子さんには、「矢中邸」のガイド。最後にカフェポستنさんが、今回開発して下さったオープンサンドの「里山ランチ」をいただきました。栗原の皆さん、遠路おつかれさまでした!

居島真紀(里山建築研究所)

※すみつかれとは北関東地方に分布する伝統の郷土料理。初午の日(はつごま)に作り、赤飯と共に稲荷神社に供える行事食。ここでは、大根を竹製鬼下ろしで粗くすりおろし、人参等と一緒に酒粕で煮る。大豆や油揚げを入れることもある。「鮭」の頭を入れる地域もある。「しもつかれ」ともいう。

### ●田井ミュージアム春の芸術祭

5月3日(金・祝)〜6日(月・祝) 田井ミュージアム(つくば市神郡54) カフェ・ソレイユ営業、シアター・アトリエでイベント開催。

### ●田楽の集い田植え

5月26日(日)10時〜15時、大雨中止山の神の谷津田(つくば市神郡2336) 参加費・大人900円、学生・障害のある方500円(昼食代込) 紙マルチを使って黒米や赤米の手植え。お昼に創作田楽舞いもあります。

「問」NPO法人自然生クラブ 029-866-2192

### ●生きものと共存する「すそみの田んぼ」

オーナーと田んぼボランティアを募集。自然の豊かな山際の棚田を、生きもののために残し、子どもたちの体験の場とすることを目指して整備を進めています。この田んぼと一緒に維持してください。この田んぼと整備作業をお手伝いいただけるボランティアさんを募集します。田んぼの案内としくみの説明を4月20日(土)に行います。興味のある方はお問い合わせください。

「問」NPO法人つくば環境フォーラム 029-863-5151

http://tef298.sakura.ne.jp

### ●普門寺にお遍路さんが巡拝に

4月3日(水)10時半頃/東福寺桜川八十八ヶ所を巡拝にお遍路さんがやってきます。ぜひ見学にお出かけください。

### ●御手洗竹松個展

5月3日(金)〜29日(水) 木曜定休 クラウドナイン(つくば市大角豆945) 「問」029-898-9019

## インフォメーション